

射水・海王丸パーク

展望広場 今春供用へ

望遠鏡やベンチ整備

富山県が射水市の海王丸パークで整備を進めている展望広場が、今春に供用を開始する見通しとなった。貨物船の出入港を眺められる望遠鏡や、立山連峰、環日本海の対岸諸国を紹介する案内板などを設置する。パークは年間100万人が訪れる県内有数の観光スポットであり、新たな交流拠点を整えて、さらなるにぎわい創出につなげる。

展望広場は高さ2・5メートルで、広さ260平方メートル。ベージュ色のカラー舗装を施して鮮やかなデザインにする。望遠鏡のほか、

休憩用のベンチなども整備する計画で、総事業費は5千万円となる。

海王丸パークは2013年に「恋人の聖地」に選定され、デートスポットとして定着してきた。近年は帆船海王丸のライトアップも

人気を集めており、展望広場の整備で一層の集客向上を図っていく。

海王丸パークの入り込み客数は、北陸新幹線開業直後の2015年度に過去最多の107万5300人となった。昨年度

は前年比4・7%減の102万3700人で100万人台を維持。今年度は9月末時点で前年同期比0・8%増の74万6400人と堅調に推移している。

県港湾課の担当者は「雄大な立山連峰と、日本海を行き来する貿易船の姿を同時に楽しめる眺望エリアにしたい」と話した。



海王丸パーク展望広場のイメージ図（県提供）